

## アジアサテライトキャンパス学院看板上掲式を挙行

アジアサテライトキャンパス学院看板上掲式が、8月4日(月)、本部3号館玄関において挙行されました。この上掲式は、本学院の発足及び磯田アジアサテライトキャンパス学院長の着任を記念して行われました。本学院は、「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」の実施を統括するとともに、本学のアジア地域における教育研究活動に貢



看板上掲の様子（左が総長、右が磯田学院長）

献することを目的とした教育研究組織です。このプログラムは、博士号の取得を希望するアジア諸国政府幹部等に対して、現職を離れることなく、主に現地に設置した本学の海外教育拠点において教育を実施する画期的な学位プログラムであり、大学院法学研究科、大学院医学系研究科、大学院生命農学研究科、大学院国際開発研究科が参画しています。今年度は、海外の教育拠点として、カンボジア、ベトナム、モンゴルにサテライトキャンパスを開設し、10月から本格的な教育活動を開始します。

式典では、濱口総長から、アジアのハブを目指す本学のプログラムにかかる熱意が述べられ、新たに着任した磯田学院長に大きな期待が寄せられました。磯田学院長からは、アジア諸国の人材養成を通じたネットワーク形成の意義や今後の活動の展望が述べられました。続いて、カンボジア、ベトナム、モンゴルの各サテライトキャンパスに着任する特任教員、事務補佐員の紹介がありました。当日は晴天の猛暑日でしたが、鮎京理事、渡辺理事、市橋副総長をはじめとする関係役員、各研究科長、その他学内関係者など約60名が集まり、賑やかな式典となりました。

## 濱口総長が企画展「戦争と大学」を見学

濱口総長は、8月8日(金)、中央図書館ビブリオサロンにおいて、企画展「戦争と大学—1931~1945 名古屋医科大学・名古屋帝国大学」を見学しました。この企画展は、8月1日(金)から31日(日)の間、同館で開催され、鶴舞キャンパスの附属図書館医学部分館において開催された同名の展示会を東山キャンパスで開催したものです。当日は



見学の様子

総長をはじめ、理事などの役員も参加し、堀田慎一郎大学文書資料室特任助教による説明を受けながら、熱心に各展示を観覧していました。

今回、東山キャンパスでの開催にあたり、大学文書資料室と同館医学部分館との共催というかたちで、同室が用意した資料やパネルなどを大幅に補強しての展示となりました。当時から日本の最高学府の1つであった本学と戦争との関わりを明らかにするという基本的なテーマは同じですが、今回はスペースを広くとれることを考慮して、5つのコーナーに分けて展示を再構成しました。

また、企画展初日の8月1日(金)には、報道関係者へ向けての説明会が開催されました。記者やカメラマンなど多くの報道関係者が参加し、蒲生英博同館医学部分館特任専門員と堀田特任助教が概要を一通り解説した後、個々に質問や取材を受けました。本企画展については、後日、テレビをはじめとした各種メディアで報じられました。